

# 相模の大凧

日本一！ 大きさ14.5m四方、重さ950kgの8間凧(はちけんだこ)が空に舞う！

相模の大凧は、天保年間(1830年頃)から継承される神奈川県相模原市の伝統行事です。相模の大凧文化保存会では、大凧作りと大凧揚げの技術を地域住民とともに受け継いでいます。

## 1 相模の大凧とは

相模の大凧とは、神奈川県中央部に位置する相模原市の新磯(新戸、上磯部、下磯部、勝坂)の4地区で、相模の大凧文化保存会によって揚げられている大凧のことです。毎年5月4日、5日に、「相模の大凧まつり」を相模川河川敷で開催しています。

平成17年5月の相模の大凧まつりの大凧の大きさは、以下のとおりです。

新戸……………8間(14.5m、1間=6尺)四方  
上磯部…………6間(11.2m、1間=6尺2寸)四方  
下磯部…………6間(10.9m、1間=6尺)四方  
勝坂……………5間(9.1m、1間=6尺)四方

大凧の材料は、竹と和紙です。竹を組み合わせて、正方形の凧の骨組みを作って反りを入れ、そこに和紙を張り合わせて作った16枚の紙を貼って揚げます。紙は着脱可能で、伝統的に2文字の漢字を赤と緑で書き表します。いわゆる「字凧」です。大凧と紙は、毎年作り替えます。

正方形で紙が着脱できるタイプの大凧で、毎年揚げているものとして、新戸の8間四方の大凧が日本一の大きさを誇っています。近年の新戸の大凧の長時間滞空記録は、平成14年の6時間7分55秒です。

新戸の8間凧の大きさ

項目	内容
大きさ	14.5m四方 64坪 128畳
重さ	約950kg
引き綱の長さ	約200m
引き綱の太さ	直径3~4cm
しっぽの長さ	85m
凧揚げに必要な人員	80~100人
凧揚げに必要な風速	秒速10~15m



平成17年「輝翔」



平成16年「祝相」



平成15年「躍進」

## 2 相模の大凧まつり

例年5月4日、5日の2日間、4地区で大凧まつりが開催されます。会場は、新戸スポーツ広場(相模川河原)とその上流3カ所です。

詳細は、相模原市の広報、まつり案内チラシ、または相模の大凧ホームページでお知らせします。

## 3 相模の大凧ホームページ

新戸大凧保存会では、「相模の大凧 新戸大凧保存会」公式サイトおよび公式ブログを開設しました。

公式サイト URL: <http://www.sagami-oodako.com/>

公式ブログ URL: <http://sagami-oodako.at.webry.info/>

公式サイトでは、8間凧を揚げる迫力ある動画、大凧まつりや大凧製作の記録写真、過去の題字、大凧まつり案内、大凧保存会活動など活動を紹介しています。また公式ブログでは、3~5月の大凧製作および大凧まつり情報をいち早く発信しています。ぜひアクセスしてお楽しみください。

ケータイのサイト URL: <http://www.sagami-oodako.com/m>、ケータイのブログも開設しています。ケータイから右のバーコードを読み取ってアクセスしてください。



(ケータイサイト)

題字書き

大凧製作

糸目付け